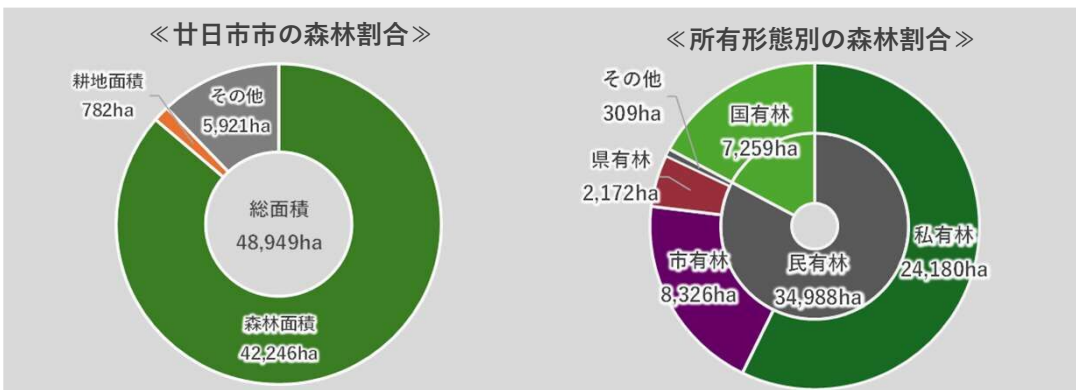


■策定の趣旨

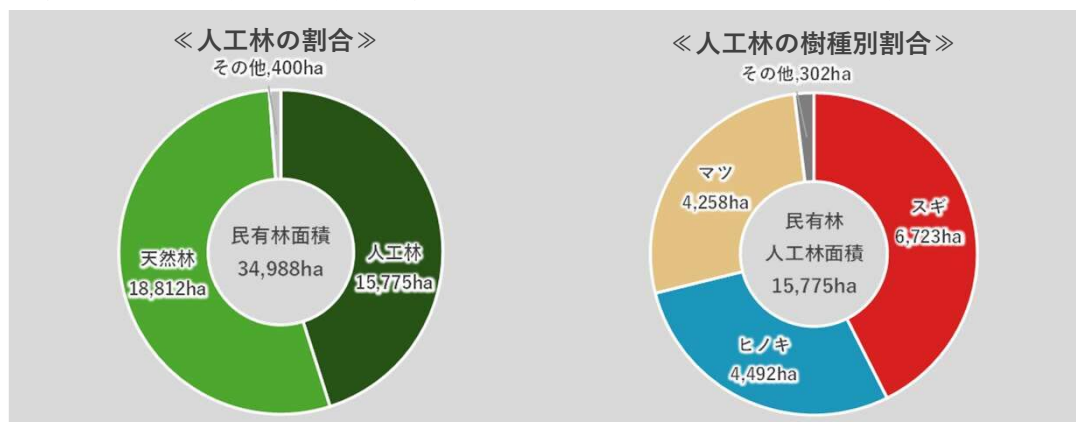
廿日市市の森林は市域の約86%を占め、木材供給や水源涵養、CO2吸収などの多様な機能を持つ重要な地域資源となっています。しかしながら、森林所有者の高齢化や林業の担い手不足等により、森林の十分な管理・活用ができていない状況にあります。そこで、これらの課題に対応し、「木のまち」として本市の豊かな森林を次世代に引き継いでいくため、「廿日市市林業振興ビジョン」を策定します。

■廿日市市の森林の現況

廿日市市は、**森林の面積割合が高い**特徴があり、広島県内の市町村で見ても、庄原市（88.2%）に次ぐ2位となっています。森林資源が豊富にある一方で、その所有形態は、私有林が大半を占めているため、森林所有者の管理意識や経済状況により、**森林の保全や活用**に差が生じやすい状況にあります。



廿日市市は、広島県全域の人工林率（32%）を大きく上回り、**人工林化が進んでいる自治体**といえます。今後、人工林においては、適切な間伐や再造林による森林の健全化、災害リスクの低減、さらに多様な樹種の導入による生態系保全が重要です。



●出典：令和7年度広島県林務関係行政資料（令和7年4月1日時点）
●表示した数値は四捨五入された整数値のため、項目の合計が実際の合計値と一致しない場合があります。

■廿日市市の林業振興課題

“森林管理”	●私有林が大半を占めているため、森林所有者の管理意識や経済状況により、森林の保全や活用には差が生じやすい状況。 ●人工林の齢級構成には偏りが生じている状況。 ●森林の所有形態が小規模分散的。 ●施業を行うために十分な林道が通っておらず、管理が不十分。 ●森林所有者の森林に対する関心度が希薄。 ●地籍調査や境界明確化を進め、森林所有者と交渉ができるような環境が必要。
“人材育成”	●森林所有者の高齢化や不在村化が進行し、担い手が不足。 ●木材の売却による利益が確保できないと、林業従事者を増やしても維持するのが困難。 ●小学生の森林ボランティアへの参加者が年々少なくなっている。 ●高齢化のため、ボランティア団体の退会者が増加している。
“木材利用”	●廿日市市内で、生産された木材量が不明瞭。 ●建築需要・廿日市市産材利用の需要は減少傾向。 ●木材の受け入れ先が不足。 ●木材が必要な時に入手できない。 ●人件費などのコスト上昇により、利益の確保が困難。 ●公共工事での廿日市市産材の利用件数が増加している。

■ビジョンの推進体制

廿日市市で林業を振興していくためには、森林資源の育成から伐採、加工、流通、利用に至るまで、林業サプライチェーン全体を俯瞰した包括的な取組が不可欠です。

林業には多様な主体が関与しており、それぞれが異なる立場と役割を担っています。そこで廿日市市では、森林を地域資源として捉え、その価値を関係者間で共有することにより、各主体の特性を活かした柔軟な連携体制の構築を進めています。



■基本理念

森林を守り、育て、活かし、
次世代へつなぐ
林業のまちづくり

■基本方針

森林管理

林業事業者が安心して施業を行える環境を整えるため、森林情報の整備、施業地の集約化、路網整備等の林業基盤の充実を図るとともに、廿日市市自らも森林事業を推進する。

人材育成

現行の支援制度を活用し、林業事業者や森林ボランティア等に加え、市民の森林保全への参加を促進し、その活動を支えることで、担い手の確保と育成を図る。

木材利用

木材の需要を維持する取組を推進し、木材生産業者と木材利用業者の情報共有を活性化することで、活発な木材利用を目指す。

普及啓発

市民が木に触れ、木材の価値を実感できる機会を創出し、林業や木材産業についての学びの場を通して木材利用への理解と関心の向上を目指す。

■施策の体系と主な取組内容（前期：令和8年度～令和12年度）

基本理念	基本方針	基本施策	主な取組	目標指標	現況値※1	目標値※2
森林を守り、育て、活かし、次世代へつなぐ林業のまちづくり	森林管理	適切な森林整備	森林整備の推進	森林整備面積	346ha※3	100ha
			再造林の促進	再造林実施面積	129ha	125ha
			その他、森林整備に関する取組	—	—	—
		林業の基盤整備	森林境界明確化や不明森林所有者の探索の推進	森林調査実施面積	165ha	50ha
			広島県が整備する森林資源情報の活用推進 林地台帳の適切な運用推進	—	—	—
			林業機械導入の促進	—	—	—
			林業に必要な作業道整備の促進	—	—	—
	人材育成	林業の担い手育成	担い手への研修費や備品購入費用の支援	担い手への研修や備品購入に対する支援実施件数	7件	10件
		市民による森づくりの促進	森林ボランティア等の活動支援	森林ボランティア等の活動に対する支援実施件数	39件	40件
	木材利用	木材利用の促進	公共施設等における木材利用の推進	公共施設等における木材利用件数	10件	15件
		加工・流通体制の構築	市内製材施設の活用促進	市内製材施設での製材量	70,866㎡	80,000㎡
	普及啓発	木に親しむ機会の創出	森林環境学習の促進	イベント参加者等人数・木材施設利用者数	4,218人	10,000人
			木育の推進			

※1 現況値は、特別な記載がない限り、直近5年間の累計値を示す。 ※2 目標値は、令和8年度から令和12年度までの合計値を示す。 ※3 令和6年度までに行われた森林整備面積の合計値を示す。